

第 1 回新城市若者議会

令和 4 年 5 月 6 日（金）午後 7 時から午後 8 時
新城市議会 議場

開 会 午後7時00分

○松下市民自治推進課長

市民自治推進課長の松下でございます。議長が決まりますまで進行を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

ただいまから、令和4年度第1回新城市若者議会を開会いたします。

今回の議会は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行い実施します。会議時間につきましてもできる限り短縮して行いたいと存じます。皆様のご協力をお願いいたします。

1. 辞令交付

○松下市民自治推進課長

初めに、辞令交付を行います。委員の皆様お一人お一人に辞令を交付させていただくのが本意ではございますが、代表の委員に交付をさせていただきたいと存じます。ご了承願います。

それでは、代表して、加藤公香（かとうきみか）委員に交付をさせていただきます。加藤公香委員、正面にお進みください。

○下江洋行市長

加藤公香様

新城市若者議会委員を委嘱する

任期は令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする

令和4年4月1日 新城市長 下江洋行
よろしくお願いたします。

○松下市民自治推進課長

ありがとうございました。なお、そのほかの委員の皆様におかれましては、それぞれ机の上に辞令をお配りしておりますので、ご確認をお願いいたします。

2. 市長あいさつ

○松下市民自治推進課長

次に、新城市長下江洋行からごあいさつを申し上げます。

○下江洋行市長

みなさんこんばんは。新城市長の下江洋行でございます。

コロナ禍において活動が制約される中ではありますけれども、本日こうしてみなさんと第8期若者議会の開催を迎えることができ、大変うれしく思います。そして、若者議会に応募してくださった皆さんのこのまちのことを強く思う気持ちと心意気に、心から歓迎と感謝の意を表したいと思えます。

昨年、一昨年の若者議会は新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、ウェブの会議や、またウェブと対面を組み合わせた形式で行ってまいりました。今回は3回目のワクチン接種もすでに始まっておりまして、感染拡大が始まった当初と比べますと少しずつ状況も変わりつつありますが、本日の会議も感染防止対策を可能な限りとったうえでの開催となりました。

本日はこの若者議会の始まりについて少しだけみなさんにお話させていただきたいと思えます。新城市は世界15か国17都市とニューキャッスルアライアンスという同盟を結び、国際交流を行っています。その海外の都市の中に若者が政策を考え、まちづくりを行う機会があることを知り、その発想を元に、新城市で若者によるボランティア団体が立ち上がりました。これが若者議会誕生のきっかけとなり、2014年には日本で初めて若者議会に関する条例が定められました。その翌年2015年に第1期若者議会がはじまって以降、新城市の若者議会は大きな注目を集め、東三河でも豊橋市さんをはじめ、日本全国様々な都市で若者議会が設立し始めています。先ほど、加藤委員に代表して委嘱辞令を交付させていただき、他の委員の皆さんもお手元に辞令があると思えますけれども、これをもって皆さんも設立8年を迎える若者議会委員の一員となりました。

皆さんは、これから1年間、若者議会を通してここにいる他のメンバーたちと切磋琢磨

しながら政策をつくり、公共の意識をはぐくむとともに、たくさんの経験を積まれることと思います。若者議会の経験は間違いなく皆さんの成長に繋がることになるでしょう。また、皆さんが成長することは、必ず市の発展に繋がるものだと私は思っております。地域の方々とも交流をし、触れ合いながら、皆さんが主体となって若者議会、そして新城市を引っ張って行ってください。

学校や職場、また家庭においても、様々な場面においてコロナ禍における制約を受けて、大変な中とは思いますが、どうかこの状況に、この困難に負けずに、前を向いて頑張っていってください。皆さんのご活躍を心より期待申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。みなさん1年間どうぞよろしく申し上げます。

3. 若者議会議長選出、副議長指名

○松下市民自治推進課長

続きまして、若者議会の議長の選出を行います。

新城市若者議会条例第5条第2項では、議長は委員の互選により定めることとなっております。

前もって議長立候補の申し出を受けさせていただきました結果、瀬野和奏（せのわか）委員から申し出がございました。瀬野和奏委員を議長に選任することについて、異議がなければ拍手をもってご賛同をお願いいたします。

（拍手）

ありがとうございました。

異議なしと認めます。

瀬野和奏委員が議長に決定しました。それでは、議長に選任されました瀬野委員からごあいさつをいただきます。

また、新城市若者議会条例第5条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、あいさつに続きまして、

副議長の指名をお願いしたいと思います。

それでは、瀬野和奏議長、前の方へお進みください。

○瀬野和奏議長

第8期新城市若者議会の議長を務めさせていただきます鳳来長篠地区在住高校2年の瀬野和奏です。

私が今回、第8期若者議会に応募した理由、そして議長に立候補した理由は大きく二つあります。

一つ目は、今より進歩した若者議会を作りたいと思ったからです。若者議会は、今では新城市のPRポイントの一つだと感じています。その若者議会をもっとPRできるように、委員の皆さん一人一人の気持ちを大切に、若者議会のもっとこうの方がいいんじゃないかという意見を反映できるようにしていきたいです。

二つ目は、もっと自分を成長させたかったからです。私は、第7期の時に初めて若者議会を経験しました。初期のころは、自分の意見がなかなか言えず、いつ切り出そうか迷っているうちに会議が終わってしまったということが何回かありました。しかし、1年間同じ委員会のみなどと議事を重ねていくうちに、自分の意見に自信を持って発言できるようになり、学校でも室長や、生徒会にも立候補するなど、大きく成長できた1年間でした。

第8期では、7期で学んだことも踏まえ、別の視点からの意見を考えたり、みんなの見本となるような人になりたいです。

第7期で培ってきた経験を、第8期で生かせるように、精一杯努めさせていただきます。

1年間よろしく申し上げます。

○松下市民自治推進課長

それでは、次に瀬野議長から副議長の指名をよろしくをお願いいたします。

○瀬野和奏議長

副議長は、梅田昌栄（うめだしょうま）委員に申し上げます。

○松下市民自治推進課長

それでは、梅田昌茉副議長、一言ごあいさつをお願いいたします。

○梅田昌茉副議長

議長のサポートはもちろん、今回、第8期の若者議会を盛り上げることを頑張ります。

○松下市民自治推進課長

ありがとうございました。それでは、1年間よろしくをお願いいたします。

4. 諮問

○松下市民自治推進課長

続きまして、若者議会の体制も整いましたので、市長から若者議会への諮問を行います。

それでは、瀬野議長、よろしくをお願いいたします。

○下江洋行市長

新城市若者議会議長瀬野和奏様

若者総合政策の実施に関する事項について諮問します。

このことについて、新城市若者議会条例第2条に基づき、下記の事項について若者議会の意見を求めます。

1. 諮問事項 若者総合政策の実施に関する事項について

2. 答申期限 令和4年11月30日
よろしく申し上げます。

○松下市民自治推進課長

ありがとうございました。

それでは、これから1年間、この諮問書に基づきまして、しっかりお取り組みいただきますようよろしくお願いいたします。

これより新城市若者議会条例第6条第1項の規定によりまして、瀬野議長に進行をお願いいたします。

では、瀬野議長、よろしく申し上げます。

5. 所信表明

○瀬野和奏議長

それでは、所信表明を行います。

若者議会委員及び若者議会市外委員お一人ずつ所信表明をお願いしたいと思います。

初めに、加藤公香（かとうきみか）委員、申し上げます。

○加藤公香委員

私は千郷地区に住む加藤公香です。年齢は20歳です。

現在の社会問題として、人、もの、仕事、お金が減少していく時代と言われています。特に新城市では少子高齢化が著しく進んでおり、人口の減少も新城市の課題として挙げられています。また、新城市に何があるのと聞かれると、田舎だから何もないという人もいます。しかし、〇〇がない、または減少する＝不幸で、〇〇がある、または増加する＝幸せなのでしょうか。従って、私は人口、観光スポットが少なくなること、増やすことばかりを気にするのではなく、今新城市に住んでいる方たちの住みやすい環境を整えることを第1に考えていきます。

例えば、私の興味分野として環境問題があります。現在、環境に良いとして注目されている無農薬野菜は、新城市でも作られている方はいらっしゃいます。無農薬野菜は生活維持が難しいこと、新城市には無農薬野菜を集めたイベントが少なく、わざわざ遠くまでイベントに参加していることを聞きました。そのような方たちが、より農業に集中しやすい環境を整えていきたいです。

このように、住みやすい環境を整えるためには、住民の方たちの積極的な政治参加が必要だと考えています。そのため、若者と政治をつなげられる若者議会で、どうすれば多くの方が政治に興味を持ってくれるのか考えていきます。

最後に、新城市をより良くしていくには、ここにいらっしゃる方、若者議会委員の皆さんのご協力、努力、行動が不可欠となります。私自身も努力と行動をしていきますので、約

1年間よろしく願いいたします。

以上で私の所信表明とさせていただきます。
ありがとうございました。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、梅田昌菜（うめだしょうま）委員、
お願いします。

○梅田昌菜委員

私は、八名地区に住む豊橋西高校2年の梅田昌菜です。年齢は16歳です。

私は、昨年の第7期若者議会に参加しました。私は、人と話すことが得意ではありませんでした。しかし、前期にこの若者議会に飛び込んでみて、人と話すことの楽しさを知ることができました。また、人の前に立ち、話すことが自信を持ってできるようになりました。大人の意見の中に若者の意見を主張すると、すぐに却下されてしまうのではないかと考えていましたが、初めて大人の方と議論をし、若者と大人が対等に話し合うことができる場であると知りました。

微力でも自分の意見を出すことによって、自分が住む新城市を盛り上げていけたらと思います。特に、前期の委員会の中で、移住してきた方々たちが、地域のコミュニティに入ることが難しい、と聞いていたので、その声をテーマとして取り上げていけたらと思っています。

1年間よろしく願いいたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、市川渚（いちかわなぎさ）委員、
お願いします。

○市川渚委員

私は、八名地区に住む市川渚です。豊橋創造大学2年生の、年齢は19歳です。

若者議会に参加した理由は、もともと新城の若者議会を知っていたり、学校の先生に勧めていただいたことにより、今までよりも興味を持つようになったりして、私も新城市の

ために考え、行動をしたいと思ったからです。

自分の意見を全体に共有することが少し苦手なので、その部分も含めて自分を成長させるためにも、若者議会に参加させていただきたいと思っておりました。

若者議会でやりたいことと、なりたい姿は、新城市のよさを生かした活動や、様々なテーマに沿った意見を考え、積極的に発言したいと思っております。

多くの委員の方々と関わらせていただき、柔軟な考えを出し、コミュニケーションの幅を広げていきたいと思っております。

生まれ育った大好きな新城市の魅力をより良いものにしていき、多くの方に伝えられるとよいと思っております。

初めての参加で不安な部分もありますが、自分なりに精一杯努力していきますので、1年間よろしく願いいたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、丸山綾加（まるやまあやか）委員、
お願いします。

○丸山綾加委員

私は、新城市鳳来地区に住む丸山綾加です。年齢は16歳です。

私がこの若者議会で行いたいことは、新城市在住の方同士の絆を深め、広めていきたいということです。もし、今この瞬間、誰も思い浮かべないような大災害が起きた場合、私たち新城市住民の方々はどのように危機を逃れ、どこへ避難すればよいのでしょうか。そこで、避難した場所が自分の全く知らない場所、人だったらどうでしょうか。大災害が起こった後なので、誰もが不安や恐怖でいっぱいにはずです。そこで、新城市の方々に思いやりがあり、強い絆があったら、このような災害でも、日々のコミュニケーションでも、毎日が楽しくなると思います。

ですから私は、新城市の方々の絆を結び、広げられるようなかけ橋になりたいと考えて

います。私にできることは少ないかもしれませんが、新城市を笑顔溢れるまちにできるようなかけ橋となれるよう、精一杯努力させていただきます。

以上で私の所信表明とさせていただきます。
ありがとうございました。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、豊田凜利子（とよだりりこ）委員、
お願いします。

○豊田凜利子委員

私は、新城市鳳来地区に住む豊田凜利子です。年齢は17歳です。

私が若者議会に参加した理由は二つあります。

一つは、新城市を今以上ににぎやかで明るいまちにしたいと思ったからです。現在の新城市はシャッターが閉まっている空き店舗が多く、寂しい印象を受けます。そこで、空き店舗を活用して、地域の方々が育ててくださった野菜や果物などを売ったり、休憩所を設けたりすることで、地域の方との距離が近くなり、にぎやかになるのではと考えました。

二つ目は、自分を成長させたかったからです。私は固定観念や先入観にとらわれ、視野が狭くなってしまうことがよくあります。若者議会を通していろんな価値感を持ったたくさんの方々と会話をして、あらゆる方向から物事を考えることができるような人になりたいです。

新城市は、豊かな自然に囲まれたすてきな場所です。しかし、知られていない魅力もたくさんあります。もっといろんな方に新城市を知ってもらうために、精一杯活動させていただきます。

1年間よろしく願いいたします。

以上で終わります。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、川合春花（かわいはるか）委員、お

願います。

○川合春花委員

私は新城地区に住む川合春花です。年齢は16歳です。

私が若者議会に参加した理由は二つあります。

一つ目は、私がずっと住んでいるこのまちの良さを、多くの人に伝えたいと思ったからです。

新城市に住んでいるだけでなく、SNSなどを通じて、様々な情報を知ってもらい、実際に訪れてもらって、新城市のよさを実感して欲しいと思います。

二つ目は、新城市に住んでいてよかったと思えるきっかけを作りたいと思ったからです。新城市の抱える課題を解決しつつ、今ある豊かな風景を残しながら生かすことができれば、新城市の魅力をより知ってもらえると思います。

例えば、自然を生かした植物園と、新城市の特産品を使用したメニューのあるカフェを組み合わせた植物園カフェなどをやってみたいなと思いました。

また、現在世界規模で抱えているSDGsの課題も、私たちが積極的に取り組み、発信していけたらいいなと思っています。

私は自分の意見を人に伝えることが苦手なので、若者議会で自分の意見をはっきりと言える人になりたいです。新城市をより良くしていく上で、自分自身も成長していけるように精一杯頑張りたいと思います。

よろしくをお願いします。

以上です。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、柏木清吾（かしわぎせいご）委員、
お願いします。

○柏木清吾委員

僕は、新城地区に住んでいる柏木清吾です。年齢は16歳です。

僕は高校1年生の時、ボランティア部でリヤカーなどを引いてゴミ拾いをしていました。その時に、ペットボトルやタバコ、お菓子の袋が多いと感じて、僕はこの新城をゴミのないきれいなまちにして今より快適に暮らすことが出来る環境づくりをしていきたいと思い、この若者議会に参加しました。

新城市の課題は、ポイ捨てが多いことや住民が減少してきているということです。だから、僕はもっと街おこしをしていったほうがいいと思いました。

やりたいことは、ゴミ拾いのボランティアやポイ捨ての防止の呼びかけなどの取り組みなどをやっていけたらなと思っています。

ゴミ拾いのボランティアに関しては、他の市や県が実施しているスポGOMIというイベントがあり、ここ新城でもやってみたいと思っております。スポGOMI甲子園とは、範囲を決めて制限時間があり、その時間内にとったゴミの質と量で勝敗を決めるイベントです。そこで、いろんな世代に参加してもらって、交流する場としてもイベントを開催していきたいと思っております。

ポイ捨て防止に関しては、プリントを製作して、小中学校にプリントを配布したり、回覧板にプリントを入れたりなどと考えております。

最後に、全力で一つ一つの問題に対処し、解決していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、長谷和奏（ながやわかな）委員、お願いたします。

○長谷和奏委員

私は千郷地区に住む高校2年生の長谷和奏です。16歳です。

中学校の時、テレビや通っていたまちなみ情報センターのポスターなどを通して、若者議会の先輩方の活動を目にすることがありま

した。自ら新城を良くするために行動しようと立ち上がり、実際に実現させてしまう行動力に感動し、憧れを抱くようになりました。高校生になり、8期生募集のポスターを見て、私もこのすばらしい活動に参加して、力になりたいと思い、応募しました。

私は高校の友達や新城をまだ知らない方に向けて、新城に来てみりんと気軽に誘えるようなイベントなどを企画したいです。

私は、現在豊橋の高校に通っているのですが、周りの同級生は新城は未開の地というイメージを持っていて、新城の魅力はまだあまり知られていません。そこで、たくさんの人に新城に来て、よさや魅力を感じてもらうには、新城の強みを生かしたイベントが必要だと強く感じました。

そこで私が考えたのが、新城の自然を生かした森のカフェテラスというイベントです。これは、新城の有名スポットの近くの自然が豊かな森などにキッチンカーを出展し、スタンプラリーのようにテラスをめぐってもらうというものです。

これは一例ですが、このように新城の魅力を楽しみながら発信できるような活動をたくさん考えていきたいです。

1年間精一杯頑張ります。

よろしくお願いたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、古瀬有菜（ふるせゆうな）委員、お願いたします。

○古瀬有菜委員

私は東郷地区に住む古瀬有菜です。高校2年生の16歳です。

私がなぜ若者議会に参加したかというのと、新城市の魅力と課題について理解を深めたいと思ったからです。

若者議会でやりたいこととしては、若者から高齢者までが暮らしやすいまちづくりです。そのために、まず、新城市の魅力を発信して

いきたいと考えています。

私は小学生になる前から、新城市に住んでいます。まだまだ知らない魅力がたくさんあると思います。私自身も理解を深めていき、新城市の魅力をもっと多くの方に知ってもらえるような活動ができればと考えています。

この1年間、仲間の皆さんとともに、新城市が若者議会により良くなるよう、精一杯取り組んでいきたいと思っています。

1年間よろしくお祈いします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、森田幸輝（もりたこうき）委員、お祈いします。

○森田幸輝委員

私は東郷地区に住む森田幸輝です。歳は16歳です。

私が若者議会に参加した理由は、新城市をもっと住みやすい市にしたいと純粋に思ったからです。

今でも十分住みやすい新城市ですが、両親や友達の意見、そして準備会の時などの意見から、もっと住みやすく、活気溢れるいい市にできると感じました。

そこで、私がこの若者議会で行いたいことは、現在二つあります。

一つ目は、電灯や道路などの公共物の整備、設置です。店などが多く集まっているところでは、夜間でも安心して車、自転車などを子どもや大人、高齢者の方々が運転できます。しかし、電灯などが設備されていないところがいまだ多くあるので、設置して、交通事故等の防止につなげていきたいと思っています。

二つ目に、自然環境を利用した農泊などのイベントの実施です。都市区間で注目されている農泊は、自然体験してもらい、農業を知ってもらったり始めてもらうきっかけになると思っています。

これからも調べたり、多くの方の意見を取り入れて、議会に貢献していきたいです。

また、私は若者議会を通して、多くのことに挑戦できる人になりたいです。これまで、挑戦することにためらってしまったことも多くあったので、とにかくやってみることを意識していきたいです。

最後に、初めての若者議会ですので、緊張してしまったり、これからミスを犯してしまうこともあるかもしれません。しかし、最後までやり抜こうと思っています。

1年間よろしくお祈いいたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、菅沼大輝（すがぬまひろき）委員、お祈いします。

○菅沼大輝委員

鳳来地区に住んでいます菅沼大輝です。高校2年生16歳です。

私が前期である第7期に引き続き、今期も若者議会に参加した理由は、まだその知名度が高いとはいえない新城市の魅力や若者議会の知名度をもっと多くの人に発信していきたいからです。

昨年1年間の若者議会委員での経験を経て、新城市の抱える諸問題や、他の自治体に誇れる市の魅力を発見することができました。

今期若者議会では、高校生という若者ならではの柔軟な視点に、昨年1年間でわかった新城市の長所や課題点を見据えた視点を織交えた政策を提案していきたいと考えています。

また、終息の兆しが見えず、長期化するコロナ禍の影響により、昨年度の若者議会の提案内容には、密集を徹底的に避けるなど一部制約がかかりました。今年も同じように制約がかかることが予想されます。その中でも、若者だからこそひらめく制約に対する有効な打開策を提案していきたいです。

今年度1年よろしくお祈いします。

以上で終わります。

ありがとうございました。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、平井緑空（ひらいりくう）委員、お願いします。

○平井緑空委員

皆さん、こんばんは。私は鳳来地区在住の新城有教館高校2年生の平井緑空といます。

私は、昨年度の第7期若者議会に参加していました。第7期若者議会では、観光について取り上げ、今まで経験したことのないさまざまなことを得ました。しかしその一方で、政策を考えていく上で新たな課題点がいくつか見つかりました。そういった新たに見つかった課題点を改善し、新城市をよりよくしたいという思いをさらに持ち、今回第8期若者議会に参加させていただきました。

今挙げたように、私は今の新城市はいくつかの課題点を抱えていると考えております。その課題点を今期の若者議会ですべてなくすことが理想ではありますが、それは厳しいということが現実です。なのでまずは一つ確実に課題点をなくすことが私の目標となります。

昨年度の第7期若者議会や、新たに参加し始めたいくつかのボランティア活動などで得た知識や情報を活用し、自分の目標である「市民が一丸となってつくりあげる市」という新城市を目指し、頑張っていこうと思います。そして、今期若者議会での自分自身の目標を達成できるように今回、若者議会に集められたメンバーの方々とともに協力し合い、全力で取り組んでいこうと思います。

1年間よろしくをお願いします。

以上で終わります。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、今泉翔帆（いまいずみしほ）委員、お願いします。

○今泉翔帆委員

私は千郷地区に住む今泉翔帆です。年齢は16歳です。

私が若者議会に参加した理由は、新城市の

歴史や自然、イベントなどのいいところについて、私たち若者は知らな過ぎると感じることもあり、もっと新城市のよさを知ってもらいたい、新城市を好きになってほしいと思ったからです。

例えば、私の友達は新城市に住んでいるのにもみじ祭りやのぼりまつりなどのイベントを知りませんでした。そして、私自身も日本の滝百選の一つである。阿寺の七滝をここ最近まで知りませんでした。私は生まれ育ってきた新城市が好きです。それなのに、新城市について知らないことがたくさんあります。新城市をよくわかっていると思っていたのでショックを受けました。しかし、それと同時に、新城市には、私の知らない魅力がもっとあるのかな、と心が躍るような感覚もありました。そんな新城市の魅力を新城市全体で共有し、みんなで理解を深めていきたいと思います。

また、人前に立つことが苦手で、自信を持ってない自分を変えたいと思っています。若者議会を通して、人前に堂々と立てる自信を持ち、自分が好きだと言えるような自分になりたいです。

第8期新城若者議会のメンバーになった責任と自覚を持ち、頑張ります。

1年間よろしくをお願いします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、石原壮（いしはらそう）委員、お願いします。

○石原壮委員

私は、新城地区在住、新城有教館高校3年の石原壮です。年齢は17歳です。

私が若者議会に参加しようと思った理由は二つあります。

一つ目は、将来、市役所の職員になりたいと考えており、少しでも早く新城市のまちづくりに関わりたいと思ったからです。

二つ目は、もともと内気な性格で、あまり

人と話すことが得意ではなく、そんな自分を変えたいと思い、若者議会に参加しました。

若者議会でやりたいことは、新城市の自然や観光地のことを、もっとたくさんの方に知ってもらおうことです。

新城市には、桜淵公園、鳳来寺山、百間滝など、まだ世間には知れ渡っていないたくさんの美しい自然があり、その自然を新城市の人たちだけでなく、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと考えています。

そして、若者議会でなりたい姿は、自分の意見をしっかり言って、周りの仲間ともコミュニケーションをとり、自分のやりたいことの実現に向けて一生懸命取り組める、そんな委員になれるように頑張ります。

以上で終わります。

1年間よろしくをお願いします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、伊藤匡輝（いとうまさき）委員、お願いします。

○伊藤匡輝委員

僕は千郷地区に住む高校2年の伊藤匡輝です。年齢は16歳です。

僕は地元である新城市を市内の人にはもちろん、市外の人にももっと知ってもらいたい、そして、新城市を今よりも元気で活気のあるまちにしていきたいと思い、若者議会への参加を決めました。

僕が中学生のときに、授業で新城市について調べる機会があり、そこでは歴史や自然、特産品といった有名なものが主に挙がっていました。そこで、新城市の歴史や自然、特産品などをもっと知ってもらえるような取り組みをし、市内外の人にも、今まで以上に興味を持ってもらえるようなまちづくりをしていきたいと思っています。

また、小学校、中学校はもちろん、高校生である現在も、地元新城にある学校に通っており、新城市で育っている中で、地域連携の

強さを実感することができました。この地域連携の強さを生かして、教育の面や、地域活動の面などでも、市内外で話題になるようなまちづくりをしていきたいと思っています。

最後に、僕は今回の若者議会を通して、自分自身ももっと新城市について知るだけでなく、この活動によって、新城市について知り、興味を持ってもらえるような人を増やしていきたいと思っています。そのためにも、一つ一つの活動を、精一杯取り組んでいきたいと思っています。

これから1年間よろしくをお願いします。

以上です。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、藤井成俊（ふじいなるとし）委員、お願いします。

○藤井成俊委員

私は千郷地区に住む藤井成俊です。現在、高校2年の16歳です。

私が若者議会に参加した理由は、新城で育った若者が、新城の魅力を発見する前に都会に行こうとしている人が多いと感じたからです。

新城の魅力と第1に出てくることは、自然についてでしょう。豊かな自然はとてもよい魅力なのですが、認識することが難しく、若者にとっては、何もないまちになってしまいやすいのです。ですから、若者議会を通して、歴史的に有名な場所や食べ物、お祭りなどの認識のしやすい魅力を発見していき、その魅力を多くの人に発信していきたいと思っています。

私自身、新城に住んでいますが、新城について知らないことも多いので、若者議会を通して、新城のことについて、より知識を深めていきたいと思っています。

この1年間、若者議会委員として活動していきます。

よろしくをお願いいたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、小野田響（おのだひびき）委員、お願いします。

○小野田響委員

私は、東郷地区に住む新城有教館高校2年生、小野田響です。16歳です。

今回、新城若者議会に参加した理由は、新城市の課題を解決し、活気溢れるまちにしたいと思ったからです。

今新城市にとって必要なことを考えました。最近よく聞くようになったのは、少子化に伴う人口減少で、年間600人ほど新城市から減っていったるそうです。まちなかから聞こえるにぎわいの声が減っており、まち全体の活気が失われつつあります。私は、そのまち全体の活気が失われている現状を何とかしたいと思い、若者議会に入りました。この目標を掲げ、皆様とともに、この新城市を盛り上げていきたいと思えます。

私は、このまちの良いところは、自然が豊富にあるところだと思ひ、何か良いことに生かせないかと考えていました。ともに考えともに動く。そんな若者議会の場で、この新城市の自然を生かしたこのまちの魅力が伝わる行動を起こしていきたいと思ひます。

私の案としては、有教館高校付近にある桜淵公園を生かして、それを近場にあるという2点が生かせる新城有教館高校の生徒、教員の力添えを借りて、行事を行っていききたいと思ひます。

私自身も新城市のことを自信を持って知っているとは言い難いですが、この機会を通じて学んでいきたいと思ひます。

以上です。

ありがとうございました。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、丸山泰平（まるやまたいへい）委員、お願いします。

○丸山泰平委員

私は東郷地区に住む新城有教館高校2年生の丸山泰平、16歳です。

今回若者議会に参加した理由は、将来の夢のための一歩になれば、と思ったからです。その夢は、教師として大好きな新城市で生活したい、生徒と関わりたいと考えています。この若者議会という場での経験を通して、より新城市を住みやすいまちになるように貢献し、新城市の将来を担う子どもたちに魅力を伝えられるようにしたいです。

新城市は、子どもたちからお年寄りの方々と関わる機会が多く、すれ違えば挨拶を交わすということが新城市の魅力の一つだと思っています。しかし、昨今のコロナ禍により、以前と比べて地域でのイベントなどが制限され、地域の繋がりが弱くなってきていると思ひます。

そこで、若者議会が地域の方と楽しみながら交流をするイベントを企画し、運営したいと考えています。例えば、地震が起きた際には、どこに避難すべきかを確認しながら、新城市の観光地を巡るイベントや、子どもたちからお年寄りまで交流できるソフトバレーボール大会などを開催できたらと考えています。

私自身、至らない点も多くあると思ひますが、新城市をよりよいまちにできるように、皆様とともに努力していきます。

これから1年間よろしくをお願いします。

以上で私の所信表明とさせていただきます。ありがとうございました。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、内田カウア（うちだかうあ）委員、お願いします。

○内田カウア委員

私は千郷地区に住む内田カウアです。新城有教館高校1年、15歳です。

自分が若者議会に入ろうと思った根本的な理由は、市役所に勤める母の知り合いに入っ

てみないかと勧められたからです。

自分はそれまで新城について詳しく考えたことはあまりなく、ただ住みやすいまちだけだと思っていました。しかし、それから、若者議会に入ることを前提として、新城について考え始めたところ、たくさんの魅力や課題に気づくことができました。

それで、まず自分が注目したことは、新城の少子高齢化と人口減少です。新城は年々人口が減少しており、このままでは新城市がなくなってしまう可能性だって全くないとは言いきれない状態になってきました。その理由として自分が考えたことは、まず、若者が新城を出て技術を身につけても、それを生かせる場所が新城にはないということです。新城の働き口は、あまり多いとは言えず、ほとんどは、やりがいがないとは言いきれないけれども、ほとんどの若者がやりたいとは思えないものだと思っています。そのために、自分は、新城へ企業を勧誘し、若者が新城を出て戻ってこられる場所を作り上げたいと考えています。

ありがとうございました。

これで終わります。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

それでは、若者議会委員に引き続き、若者議会市外委員、所信表明をお願いします。

それでは、齋藤愛彩（さいとうあや）市外委員からお願いします。

○齋藤愛彩市外委員

私は山形県に住む東北芸術工科大学2年の齋藤愛彩です。年齢は20歳です。

私は、若者たちが大人から与えられるだけの存在ではなく、対等な立場で活動できる居場所を作りたいです。この思いの始まりは、私が13歳から5年間在籍していた山形県の遊佐町少年議会からです。少年議会は、1年の中で中高生が自分たちで考えた政策を町へ提言して実際に実行したりすることができる

場なのですが、私は中学生まで、まちや社会で何かをつくり、影響を与えられるのは大人だけだと感じていました。しかし、ともに活動する仲間や支えてくれる大人と出会い、自分にだってまちは変えられると本気で思うようになりました。しかし、少年議会が20年前から存在する遊佐町ですら、そういった場はみんなのものにはなっていません。町の中高生は、意識が高い人達の集まりのようで自分たちには関係ないとか、自分には難しそうと口々に言って、私たちはまるで特別な人であるかのように思われていました。

また、活動の中で、ふるさとへの不満を感じている同世代の声もよく耳にしました。彼らは地元のことは好きだと言うし、学内活動は精力的です。しかし、実際の町のこととなると、自分には変えることはできないと思いつまみ込んでいることが、私は心底もつたいないと思いました。そのため、議会という仕組み以外に、大人や仲間の応援を受けつつ、町が好きだという思いを形にしたり、町への不満を自分たちで解決する場がさらに広がれば、その活動の中で、自分が町に対して意味のある存在だという自信を深めていくことができるはずだと考えました。

こうした思いから、私は高校一年生の頃から、若者が安心して一本目を踏み出すきっかけとなる仕組み、日本語で若者議会や子ども議会と訳されるユースカウンシルに加え、居場所、ハードとしてのユースセンターづくりを、ふるさとの遊佐町、山形県をはじめ、全国で推進する活動を今しています。

今回、新城に全く縁を持たない私が市外委員として活動する中で、新城市若者議会のユースカウンシルとしての事例をより深く理解したいです。そして、私自身周囲を巻き込み、そんな場を全国に作っていく知識やスキルをさらに身につけ、社会に還元していきたいと思っています。

1年間よろしくをお願いします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、古市裕亮（ふるいちゆうすけ）市外委員、お願いします。

○古市裕亮市外委員

私は古市裕亮です。年齢は26歳です。大学生のときまでは千郷地区に住んでいて、現在は東京の大田区に住んでいます。

若者議会に参加する理由は主に2点あります。

1点目は、新城市内外で出た知識をメンバーに共有して、それをまちづくりに生かすことができるというふうに考えたからです。先ほど述べたように、私自身、大学生のときまでは新城市に住んでいて、大学3年のときには、ユースコンファレンスだったりとか、大学4年生のときには、ニューキャッスルアライアンスに参加してきたことから、新城市の事業に携わってきました。また、学生の頃は、イギリスへ約1年間留学を経験したりだったりとか、今、さっき言ったように、東京都の大田区に住んでいることから、主観的に新城市を捉えるだけでなく、客観的な視点を持って新城市を捉えることができるというふうに考えております。

2点目に、新城市から離れて生活する人が参加することで、新しい視点でまちづくりに生かせることができるのではないかとというふうに考えております。今までの若者議会を見ると、参加する人の大半が学生だったりとか、あとは社会人で参加する人っていうのは、市内の企業で働いている方だったりとか、あとは近隣市町村で住んでる方が多い印象にあります。社会人でも新城市から離れて生活する人が参加することによって、より新しい視点で新城市について、まちづくりができるのではないかとというふうに考えております。

以上2点のことから、メンバーと一緒に、若者議会の活動を通じて新城市を活性化していきたいというふうに考えたことから、私自身、

参加するっていうふうに決めました。

1年間よろしく願いいたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

次に、山口翔大（やまぐちしょうた）市外委員、お願いします。

○山口翔大市外委員

皆さんこんばんは。

名古屋市に住む山口翔大と申します。年齢は21歳で、名古屋大学法学部4年生です。

私が若者議会に参加したいと考えた理由は、昨年の秋にゼミのフィールドワークにおいて新城にお世話になったため、そのお返しが少しでもしたいと思ったということにあります。市外委員として、新城から少し離れた視点や、大学生活での学びを生かしたアイデアを提供していければと思っております。

若者議会では、プレイスメイキングによる若者の居場所づくりに取り組んでいければよいと考えております。新城総合公園など、立派な公園もあり、軽トラ市を開催されているような新城であれば、公共空間の積極的な活用により、ハードやソフト、両面からより使いやすい空間にしていけるのではないかとというふうに考えております。

これから、若者議会を通じて、新城についてもより深く知り、新城のお力になれるように精一杯取り組んでいきたいと考えております。

1年間よろしく願いいたします。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

なお、森下華（もりしたはな）市外委員、益子アイメ（ますこあいめ）市外委員については、都合により欠席されています。この25人で答申に向けて第8期若者議会一丸となって活動していきたいと思っております。

6. 市議会議長あいさつ

○瀬野和奏議長

それでは最後に、大変お忙しい中、ご出席をいただきました新城市議会議長長田共永様からごあいさつを賜りたいと存じます。長田市議会議長、よろしく申し上げます。

○長田共永市議会議長

ようこそ議場へ。市議会議長の長田でございます。

今夜は、滝川副議長ともども、皆さんにお会いできるのを楽しみに、この場にやってきました。

改めて、若者議会への応募していただいた君たちの勇気と志、それに対して、心からの敬意と、感謝の方を申し上げたいと思います。ありがとう。

改めて、麦わらのルフィ船長、皆さん知っての通りかと思いますが、風に言うと、覚悟がねえやつが若者議会に手を出すな。そんな思いです。そんな思いをなぜ言ったかという、君たちの所信を聞いて、その思いが、自身は、君たちの覚悟を感じ、吹き飛びました。改めて、君たちならできると確信しております。

そうした中で、君たちに一つ尋ねたいことがあります。新城市には、若者条例、そして、新城市若者議会条例というものがあります。その二つの条例を読んだ委員の皆様、挙手をしてほしい。ありがとう。もし読まれてない方がいるのであれば、今夜にでもいい、必ず二つの条例を見て、今後の若者議会へ臨んでほしいと思います。

この若者議会の第一条、目的にこうあります。この条例の目的は、若者が活躍するまちを形成することで、市民が主役となるまち及び世代のリレーができるまちの実現に寄与することです。まさに君たちが所信で言った思いじゃないですか。その思いを若者議会で反映してほしいと、心から議長として、そう思っております。厳しいことを言うようですが、同じことを若者委員の皆様に出会うたびに私は言います。なぜ厳しいことを言うのかという

と、君たちの事業が、市民の皆様の税金で賄われてる、そうしたことではない。それもあるのかもしれないが、君たちをまちづくりのライバルだと、そして主人公だと思っているからです。君たちには、我々と違い、まちづくりに対する時間、時間があります。その貴重な時間を若者議会で、その市長への答申で達成してほしいと心より思っております。

君たちは今、マスクを取れないでいます。コロナ禍だからです。コロナ禍でも、きっと何か大切なものが見えるはずですよ。若者議会だからこそ、何か見つかるはずですよ。君たちにはできます。君たち、25人に期待し、議長からの挨拶とさせていただきます。

そして、いつもこれも君たちへの宿題で、これは個人的な宿題です。誰も今までその宿題に答えていただいたことはありませんが、私には君たちと同世代の娘がいますが、特に娘からSNSをブロックされておりますので、その解決方法を個人的に教えていただくと非常にうれしく思います。

少し挨拶をやわらかくしながら、その君たちの笑顔がこのまちをつくり、周りの笑顔を作ってください。

以上、議長挨拶とします。

頑張ってください。

終わります。

○瀬野和奏議長

ありがとうございました。

本日は大変お忙しい中、下江市長様、長田市議会議長様をはじめ、お越しいただき、まことにありがとうございました。

また、若者議会のスタートに際しまして、議場を快くお貸しいただいた長田市議会議長様はじめ、市議会議員の皆様、ありがとうございました。

私自身、議長ということで、不安な点もたくさんありますが、皆さんと一緒に頑張って一杯努力させていただきたいと思っております。

皆様、今後ともご指導のほどよろしくお願

いたします。

これもちまして第1回新城市若者議会を
閉会とさせていただきます。

閉 会 午後8時00分